

安全データシート

国際連合GHSに拠る

NATURAL p-CRESOL 1% IN PG

加工された日付: 15.01.2025

製品コード: 233730WW

ページ 1 の 9

1 化学品及び会社情報

1.1 製品識別名

NATURAL p-CRESOL 1% IN PG

1.2. 物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

用途

以下の製造：エアケア製品－香水、フレグランス－医薬品－化粧品、パーソナルケア用品－香料－その他

1.3. 安全データシート作成者の詳細

会社名称:	Axxence Aromatic GmbH	
街路名:	Tackenweide 28	
住所:	D-46446 Emmerich am Rhein	
電話番号:	+ 49 2822 68561 0	F A X 番号: + 49 2822 68561 39
電子メール:	info@axxence.com	
担当者:	Safety Team	電話番号: + 49 2822 68561 0
電子メール:	safety-documentation@axxence.com	
インターネット:	www.axxence.de	
担当部門:	Safety Management	

1.4. 警察署・消防署への非常通話

+49 2822 68561 99

番号:

2 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

国際連合GHS (ST/SG/AC.10/11/Rev.10)

皮膚腐食性/刺激性; 皮膚刺激性2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼刺激性2

2.2. ラベル要素

国際連合GHS (ST/SG/AC.10/11/Rev.10)

注意喚起語: 警告

危険有害絵文字:



危険有害性情報

H315+H319 皮膚及び強い眼刺激。

危険の予防

P264+P265	取扱い後は、手[、...]をよく洗うこと。目を触らないでください。
P280	保護手袋 / 防護衣 / 保護眼鏡 / 保護面 / 防音保護具 / を着用すること。
P302+P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P332+P317	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断を受けること。
P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P317	眼の刺激が続く場合：医師の診断を受けること。

安全データシート

国際連合GHSに拠る

NATURAL p-CRESOL 1% IN PG

加工された日付: 15.01.2025

製品コード: 233730WW

ページ 2 の 9

2.3. 他の危険有害性

This substance is not listed as SVHC (substance of very high concern) in the Candidate List according to Article 59 of REACH. This substance is not identified as SVHC (substance of very high concern) and is not subject to authorisation according to Annex XIV of REACH.

3 組成及び成分情報**3.2. 混合物**

関連成分

CAS番号	化学名	数量
	分類 (国際連合GHS (ST/SG/AC.10/11/Rev.10))	
57-55-6	PROPYLENE GLYCOL	98-99%
106-44-5	NATURAL p-CRESOL	1-1,5%
	Acute Tox. 3, Acute Tox. 3, Skin Corr. 1B, Eye Dam. 1, Aquatic Acute 2; H311 H301 H314 H318 H401	

4 応急措置**4.1. 応急処置の説明**

吸入した場合

新鮮な空気を入れること。

皮膚に付着した場合

皮膚に触れた場合、直ちに多量の水 かつ せっけんで洗い流すこと。汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

目に入った場合

眼に触れたときは、瞼を開けた状態で、長時間、眼を水で洗浄し、直ちに眼科医の診察を受けること。

飲み込んだ場合

直ちに口をすすぎ、で1杯の水を飲む。

4.2. 急性および遅発性の最も重要な症状および影響

情報は何もない。

4.3. 必要な緊急の医療処置および特別な治療の指示

症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置**5.1. 消火剤**

適切な消火剤

消火対策を、周辺地域に適合するよう調整すること。

5.2. 物質または混合物特有の危険有害性

発火性ではない。

5.3. 消防士のための事前注意事項

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。全身防護服。

追加の指摘

ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴射して沈降させること。汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させないこと。

6 漏出時の措置

安全データシート

国際連合GHSに拠る

NATURAL p-CRESOL 1% IN PG

加工された日付: 15.01.2025

製品コード: 233730WW

ページ 3 の 9

6.1. 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

全般的な注意事項

十分に換気すること。ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。個人用の保護具を使用すること。

6.2. 環境に対する予防措置

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

6.3. 封じ込めおよび浄化方法と機材

浄化にあたって

液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤）を用いて、取り除くこと。その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。

6.4. 他のセクションを参照

安全取扱い: 参照箇所 節 7

個人用保護具: 参照箇所 節 8

廃棄物処理: 参照箇所 節 13

7 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

安全取り扱い注意事項

特別な予防措置は必要ではない。

火災および爆発防護に関するアドバイス

特別な防火対策は、必要ではない。

一般的な産業衛生に関する注意事項

汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！休憩前や就業後は、手と顔を念入りに洗うこと、必要であればシャワーを浴びること。職場では、飲食、喫煙、鼻をかむことはしないこと。

7.2. 配合禁忌等、安全な保管条件

倉庫と容器の需要

容器は、密閉した状態を保つこと。

共同貯蔵に関する注意事項

特別な予防措置は必要ではない。

8 ばく露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

8.2. 曝露防止



保護・衛生対策

眼/顔面用の保護具

適切な眼の保護: ゴーグル。

手の保護具

適切な手袋の種類: ブチルゴム。

化学物質を取り扱う際には、4桁の検査番号を含むCE表示のついた化学物質用保護手袋に限り、着用しなければならない。化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならない。前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認す

安全データシート

国際連合GHSに拠る

NATURAL p-CRESOL 1% IN PG

加工された日付: 15.01.2025

製品コード: 233730WW

ページ 4 の 9

ることが望ましい。適切な手袋の種類: ブチルゴム

皮膚の保護

防護衣料の使用。

呼吸器の保護

換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

9.1. 基礎物理および化学特性の情報

物質の状態:	液体の
色:	
臭い:	,
融点/融解範囲:	確定されていない
沸点また初留沸点及び沸騰範囲:	184 °C
引火性:	確定されていない
爆発下限:	確定されていない
爆発上限:	確定されていない
引火点:	190 °C
発火点:	確定されていない
分解温度:	確定されていない
pH値:	確定されていない
動粘度:	確定されていない
水溶性:	物質は水に不溶性であることが知られているので、試験を実施する必要はない。
溶媒に対する溶解性	確定されていない
n-オクタノール/水分分配係数:	確定されていない
蒸気圧:	確定されていない
密度:	1,04 g/cm
相対蒸気密度:	確定されていない
粒子特性:	非該当

9.2. その他の情報

物理化学的危険性クラスに関する情報

爆発特性

その製品は、() ない: 爆発の危険がある。

酸化特性

その製品は、() ない: 助燃性。

10 安定性及び反応性

10.1. 反応性

規定に従って取扱い及び貯蔵される場合、有害反応はない。

10.2. 化学的安定性

本製品を通常の常温で保管すると安定である。

10.3. 危険有害反応性の可能性

知られた有害反応はない。

10.4. 避けるべき条件

なし

安全データシート

国際連合GHSに拠る

NATURAL p-CRESOL 1% IN PG

加工された日付: 15.01.2025

製品コード: 233730WW

ページ 5 の 9

10.5. 不適合物質

情報は何もない。

10.6. 危険有害性のある分解生成物

既に知られた有害分解製品はない。

11 有害性情報

毒性情報

急性毒性

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

ATEmix 算出した

急性毒性の推定 (経口の) > 5000 mg/kg; 急性毒性の推定 (皮膚の) > 5000 mg/kg; 急性毒性の推定 (吸い込んで蒸気) > 50 mg/l; 急性毒性の推定 (吸い込んで 塵/ミスト) > 12,5 mg/l

CAS番号	化学名				
	曝露の経路	投与量	種	源泉、出典	方法
57-55-6	PROPYLENE GLYCOL				
	経口の	LD50(50%致死量) 22000 mg/kg	ネズミ	REACH registration	
	皮膚の	LD50(50%致死量) 20800 mg/kg	イエウサギ	GESTIS	
106-44-5	NATURAL p-CRESOL				
	経口の	LD50(50%致死量) 207 mg/kg	ラット	REACH registration	
	皮膚の	LD50(50%致死量) 301 mg/kg	イエウサギ	GESTIS	

刺激性及び腐食性

皮膚腐食性/刺激性: 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 強い眼刺激。

感作性影響

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

生殖細胞変異原性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

発がん性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

生殖毒性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

11.2. その他の危険有害性に関する情報

内分泌かく乱特性

情報は何もない。

安全データシート

国際連合GHSに拠る

NATURAL p-CRESOL 1% IN PG

加工された日付: 15.01.2025

製品コード: 233730WW

ページ 6 の 9

その他参考となる事項

この混合物はEC指令No 1272/2008 [CLP]において、危険性を有すると評価される。

12 環境影響情報

12.1. 毒性

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

CAS番号	化学名					
	水生有毒	投与量	[h] [d]	種	源泉、出典	方法
57-55-6	PROPYLENE GLYCOL					
	急性魚毒性	LC50(50%致死濃度) 40613 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss (ニジマス)	REACH registration	Guideline: Environment Canada (1990)
	藻類毒性	ErC50 19000 mg/l	96 h	Pseudokirchneriella subcapitata	REACH registration	OECD 201
	ミジンコ毒性	EC50 18340 mg/l	48 h	Ceriodaphnia spec (ミジンコ種)	REACH registration	EPA 600/4-90/0-27
	魚毒性	NOEC 11530 mg/l	7 d	Pimephales promelas (ファットヘッド・ミノー)	REACH registration	EPA 600/4-89/001
	藻類毒性	NOEC 15000 mg/l	14 d	Pseudokirchneriella subcapitata	REACH registration	OECD 201
	甲殻類毒性	NOEC 13020 mg/l	7 d	Ceriodaphnia spec (ミジンコ種)	REACH registration	EPA 600/4-89/001
	急性バクテリア毒性	EC50 >20000 mg/l ()	0 h	Pseudomonas putida	REACH registration	German guideline: "Bewertung wassergefahr"
106-44-5	NATURAL p-CRESOL					
	急性魚毒性	LC50(50%致死濃度) 4,4 mg/l	96 h	Salmo trutta fario (L) (ブラウン・トラウト (マスの1種))	REACH registration	
	藻類毒性	ErC50 23 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum	REACH registration	OECD 201
	ミジンコ毒性	EC50 7,7 mg/l	48 h	大ミジンコ	REACH registration	DIN 38412 part 11
	魚毒性	NOEC 1,35 mg/l	32 d	Pimephales promelas (ファットヘッド・ミノー)	REACH registration	OECD 210
	藻類毒性	NOEC 9,5 mg/l	3 d	Selenastrum capricornutum	REACH registration	OECD 201
	甲殻類毒性	NOEC 1 mg/l	21 d	大ミジンコ	REACH registration	

12.2. 残留性と分解性

その製品は、検査されなかった。

安全データシート

国際連合GHSに拠る

NATURAL p-CRESOL 1% IN PG

加工された日付: 15.01.2025

製品コード: 233730WW

ページ 7 の 9

CAS番号	化学名			
	方法	価値	d	源泉、出典
	評価			
57-55-6	PROPYLENE GLYCOL			
	OECD 301F	98,3%	28	REACH registration
	生物学的に分解しやすい (OECDの基準に拠る)。			
106-44-5	NATURAL p-CRESOL			
	OECD 301 C	60%	28	

12.3. 生物蓄積性

その製品は、検査されなかった。

n-オクタノール / 水分分配係数

CAS番号	化学名	Log Pow
57-55-6	PROPYLENE GLYCOL	-1,07
106-44-5	NATURAL p-CRESOL	1,97

BCF

CAS番号	化学名	BCF	種	源泉、出典
57-55-6	PROPYLENE GLYCOL	0,09		REACH registration

12.4. 土壤中の移動度

その製品は、検査されなかった。

12.6. 内分泌かく乱特性

基準を満たす成分はないので、この物質は非標的生物に対して内分泌かく乱特性を有する物質を含んでいない。

12.7. その他の有害な影響

情報は何もない。

詳しい情報

環境への放出を避けること。

13 廃棄上の注意**13.1. 廃棄物処理方法****廃棄の勧告**

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

汚染した包装

十分な水で洗い流すこと。完全に中身が空の包装容器は、再生利用に引き渡すことができる。

14 輸送上の注意**海上輸送 (IMDG)****14.1. UN番号またはID番号:**

No dangerous good in sense of this transport regulation.

14.2. 正式の国連輸送名:

No dangerous good in sense of this transport regulation.

14.3. 輸送における危険有害性クラス:

No dangerous good in sense of this transport regulation.

14.4. 包装等級 (P G):

No dangerous good in sense of this transport regulation.

空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)**14.1. UN番号またはID番号:**

No dangerous good in sense of this transport regulation.

14.2. 正式の国連輸送名:

No dangerous good in sense of this transport regulation.

14.3. 輸送における危険有害性クラス:

No dangerous good in sense of this transport regulation.

14.4. 包装等級 (P G):

No dangerous good in sense of this transport regulation.

安全データシート

国際連合GHSに拠る

NATURAL p-CRESOL 1% IN PG

加工された日付: 15.01.2025

製品コード: 233730WW

ページ 8 の 9

14.5. 環境危険有害性

環境に有害である:

いいえ

14.6. 使用者のための特別な予防措置

No dangerous good in sense of this transport regulation.

14.7. MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

No dangerous good in sense of this transport regulation.

15 適用法令

国内規定情報

従業制限:

若年層への従業制限に注意する。

16 その他の情報

安全データシート

国際連合GHSに拠る

NATURAL p-CRESOL 1% IN PG

加工された日付: 15.01.2025

製品コード: 233730WW

ページ 9 の 9

略称と頭字語の説明

CLP: Classification, labelling and Packaging
 REACH: Registration, Evaluation and Authorization of Chemicals
 GHS: Globally Harmonised System of Classification, Labelling and Packaging of Chemicals
 UN: United Nations
 EC/EEC: European Community/European Economic Community
 EU: European Union
 CAS: Chemical Abstracts Service
 DNEL: Derived No Effect Level
 DMEL: Derived Minimal Effect Level
 PNEC: Predicted No Effect Concentration
 ATE: Acute toxicity estimate
 LC50: Lethal concentration, 50%
 LD50: Lethal dose, 50%
 LL50: Lethal loading, 50%
 EL50: Effect loading, 50%
 EC50: Effective Concentration 50%
 ErC50: Effective Concentration 50%, growth rate
 NOEC: No Observed Effect Concentration
 BCF: Bio-concentration factor
 PBT: persistent, bioaccumulative, toxic
 vPvB: very persistent, very bioaccumulative
 Mファクター: 増倍率
 ADR: Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route
 (European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)
 RID: Regulations concerning the international carriage of dangerous goods by rail
 ADN: European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Inland
 Waterways (Accord européen relatif au transport international des marchandises dangereuses par voies
 de navigation intérieures)
 IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods
 EmS: Emergency Schedules
 MFAG: Medical First Aid Guide
 IATA: International Air Transport Association
 DGR: Dangerous Goods Regulations
 ICAO: International Civil Aviation Organization
 TI: Technical Instructions
 MARPOL: International Convention for the Prevention of Marine Pollution from Ships
 IBC: Intermediate Bulk Container
 VOC: 揮発性有機化合物 (volatile organic compound)
 SVHC: Substance of Very High Concern
 略語と頭字語に対しては、ECHAの情報要件及び化学品安全性評価ガイダンスの第20章(用語と略語の表)を参
 照すること。

(危険成分に関するデータは、事前供給者からの最新の安全データシートから取得されました) 。